

| | | | | | | | | | | | |
|--|------------------------------------|-----|---|--------------|-----------------|-------------------|----|----------|----|----------|-----|
| 授業科目名 <英訳> | 教育課程論Ⅰ Theories of Curriculum I | | | | 担当者所属・ 職名・氏名 | 教育学研究科 准教授 西岡 加名恵 | | | | | |
| 配当 学年 | 2-4回生 | 単位数 | 2 | 開講年度・ 開講期 | 2016・ 後期 | 曜時限 | 水2 | 授業 形態 | 講義 | 使用 言語 | 日本語 |
| 共用科目 | 学部専門科目（教育課程論） | | | | | | | | | | |
| [授業の概要・目的] | | | | | | | | | | | |
| 現代の日本においては、創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めることが求められている。本講義では、学校における教育課程（カリキュラム）編成に焦点を合わせて、その理論と実践について検討する。教育課程編成に関わる基本的な知識・技能を習得するとともに、各自が重要と考える現代的課題に対応する教育課程を構想する力を身につけることをめざす。ゲスト講師を招くなどして、学校現場での教育課程改善の実際に触れる機会を提供することも検討している。 | | | | | | | | | | | |
| [到達目標] | | | | | | | | | | | |
| 教育課程の歴史や論点について基本的な知識を身につけるとともに、学校における教育課程改善の進め方について理解する。 | | | | | | | | | | | |
| [授業計画と内容] | | | | | | | | | | | |
| 1．オリエンテーション 2～3．教育課程改善の実践例 4．単元の構成要素 5．教育課程の編成原理 6．「総合的な学習の時間」の指導と評価 7～9．学習指導要領の変遷 10．学校におけるカリキュラム・マネジメント 11．中間テスト 11～13．教育課程の「逆向き設計」 14．「教育課程改善プラン」の検討会 15．まとめ 上記は、受講者のニーズやゲスト講師との調整などにより変更する場合がある。 フィードバックの方法については別途、連絡する。 | | | | | | | | | | | |
| [履修要件] | | | | | | | | | | | |
| 特になし | | | | | | | | | | | |
| [成績評価の方法・観点及び達成度] | | | | | | | | | | | |
| 授業中に指定した課題（60点）、および筆記テスト（40点）により評価する。 | | | | | | | | | | | |
| 優： 課題と筆記テストにおいて、高い水準で目標を達成している。 良： 課題と筆記テストにおいて学修の効果が認められ、概ね目標を達成している。 可： 課題と筆記テストにおいて、目標をある程度達成しているが、さらなる努力が求められる。 不可： 学修の効果が十分に認められず、目標を達成したとは言い難い。 | | | | | | | | | | | |
| ----- 教育課程論Ⅰ(2)へ続く ----- | | | | | | | | | | | |

教育課程論Ⅰ(2)

[教科書]

田中耕治ほか『新しい時代の教育課程(第3版)』(有斐閣)(本科目では、「第3版」を用いる。)
西岡加名恵『教科と総合学習のカリキュラム設計 パフォーマンス評価をどう活かすか』(図書文化)

[参考書等]

(参考書)

西岡加名恵・石井英真・川地亜弥子・北原琢也『教職実践演習ワークブック ポートフォリオで教師力アップ』(ミネルヴァ書房)ISBN:978-4-623-06621-3
その他の参考図書については、授業中に紹介する。

[授業外学習(予習・復習)等]

授業中に指定する課題に取り組むにあたっては、授業の時間外に、指定された文献や独自に選んだ文献を読むなどの作業に取り組む必要がある。筆記テストに際しては、講義内容を復習して臨むこと。

(その他(オフィスアワー等))

授業では、一部、ワークショップなども取り入れるため、積極的な受講が望まれる。
本科目は、京都大学COC事業(地(知)の拠点整備事業)「COCOLO域」の「まなびよし」(越境講義科目群)の科目に位置づいている。「COCOLO域」とは、「地域のみなさま(団体・企業)と、京都大学の教職員・学生のコラボレーションで、『京都の各地域の課題を解決する』ことを目指した事業」である(<http://www.coc.kyoto-u.ac.jp/>)。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。